

葦 森 の 風

さくらの開花予報があちらこちらから聞こえて来ましたが、不安定な春の天候は、しばらく続きそうです。去る3月16日に、第47回卒業証書授与式が執り行われました。1・2年生の皆さんは、参加されていましたが、今一度振り返ってみたいと思います。

卒業式風景

【校長式辞より】『困難に立ち向かって行けば、結果がどうであっても無意味に終わる挑戦など決して無い。』という話をしました。車いす卓球で国内チャンピオンの岡紀彦（としひこ）さんは岡山市のご出身です。『先天性骨形成不全症』という難病にかかり、小学校から車いすの生活を余儀なくされていました。岡さんの講演会での話を紹介し、卒業生の皆さんに、『困難が人を成長させてくれる。』『ピンチはチャンス。』『困難から目をそむけず立ち向かっていけば自分でも信じられないような結果が得られるものです。』『たとえ結果が得られなくても、無意味に終わってしまうような挑戦なんて決して無いと思います。』『挑戦した人の、その後の人生に必ず大きな変化が生まれるはず。』ということをお話し、『時にはあえて高い壁に挑戦していくことも大切である。』という、話をしました。

【教育委員会祝辞より】第二次世界大戦中のお話として、リトアニアの日本領事館に勤務していた外交官杉原千敏（ちうね）氏の紹介がありました。当時ナチスから迫害を受けていたユダヤ人の生命を救うために、懸命に「通過ビザ」を発行し、6000人の命を救ったとされています。「東洋のシンドラー」とも呼ばれています。この中で、「世界の情勢を見極める目」「自分で正しく判断する力」「人の命を守りたいという強い思い」などがキーワードとして挙げられました。卒業生の皆さんに「生涯にわたり、主体的に学び、思いやりの心を持って生きる国際人としての成長を期待し、願っているというお祝いの言葉でした。

【別れの言葉と歌】生徒会長服部雄作君のおくることばに答え、3年生全員で、3年間を振り返り、感謝と決意の言葉と歌の披露がありました。



最後に、サプライズとして、3年担任の谷口先生、山本先生、中谷先生に花束の贈呈が代表生徒からあり、会場中が皆、感動の涙・涙・涙。



協同学習（学びの共同体）

本年度、取り組み始めた「協同学習」は、まだまだじゅうぶんなものではないと思いますが、皆さんの真剣な取り組みのお陰で、1年目なのに、大きな成果を挙げていると思います。日々の授業は何より大切で、当面の進路選択はもとより、将来の皆さんの生きる力の基になる「協同学習」を来年度も先生方と共に、頑張っていきましょう。

【全国大会ガンバレ!!】「岡山西リトルシニア」に所属し、活躍している、2年生秋山大輔君、1年生西谷拓真君が3/29に京セラドームで開催される全国大会に出場します。（試合は3/30の予定）

『OHKで3/26・29に18:48から【あっぱれジュニア】でテレビ放送の予定です。』みなさん、ぜひ、テレビも見てください。2人の大活躍と一緒に応援しましょう。ガンバレ!!!

